



レイヤ連携型トラフィック・エンジニアリング技術(通信量制御型パス制御)
 エッジ・ルータとコア・ルータの通信量を観測し、ルータ・ネットワークとフォトニック・ネットワークを動的に切り替えることで、ネットワーク資源を最大限に活用し、実効的なネットワーク容量を最大化する。

(図2) レイヤ連携型トラフィックエンジニアリング技術①